

令和2年度（2020年度）

# 公益財団法人蘭島文化振興財団

## 事業計画

### 1 事業運営の基本方針

地域文化の振興を目指した諸事業を行うとともに、地域文化に関する教育普及活動の推進を図り、もって呉市民の文化振興と地域社会の健全な発展に寄与することを目的とする。

### 2 定款に定める事業

- (1) 蘭島閣美術館、蘭島閣美術館別館、三之瀬御本陣芸術文化館における芸術文化振興事業
- (2) 昆虫の家における自然環境保全啓発事業
- (3) 松濤園における芸術文化振興事業
- (4) 白雪楼、春蘭荘・松籟亭・煎茶室における芸術文化振興事業
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 3 事業の詳細

公益目的事業1「蘭島閣美術館、蘭島閣美術館別館、三之瀬御本陣芸術文化館における芸術文化振興事業」

#### (1) 展覧会事業

##### 【特別展】

蘭島閣美術館	春季特別展 「はしもとみお彫刻展 海からはじまるいきものたち」（仮称） 一本の丸太から新たないのちを彫りだす動物肖像彫刻家、はしもとみおの作品を紹介する展覧会を開催。はしもとみおは、15歳の時に阪神・淡路大震災を経験し、「失われた美しかった命の形を残して行く」ことを決意し、彫刻の道を志した。クスノキを削り、彩色を施して制作された動物たちは、それぞれの特徴が巧みに表現されている。本展でははしもとみおが生み出した動物たちを紹介し、命の尊さと生きることのすばらしさを感じ取ってもらう。
--------	---

<p>三之瀬御本陣 芸術文化館</p>	<p>秋季特別展 「京都近代絵画の精華」（仮称） 明治の京都日本画壇では、四条派や円山派を中心に諸派が独自の近代化を進めていった。四条派の竹内栖鳳は西洋の考え方も積極的に取り入れ、自身の画塾、竹杖会や京都市立絵画専門学校などで村上華岳、土田麦僊ら近代日本画を代表する多くの作家を育て、次世代の彼らが中心となって国画創作協会が発足し、西洋の絵画からの影響を受けながら、古典に裏打ちされた新しい表現を開花していった。明治期からの近代化に伴う社会の激動の時代に、切磋琢磨しながら独自の表現により京都画壇を切り開いていった画家たちの競演を楽しんでもらう。</p>
-------------------------	---

### 【所蔵品展】

<p>蘭島閣美術館</p>	<p>「和のかたち」、「水の表現—絵画から工芸まで」、「旅した画家たちが魅せられた世界」、「画家たちのまなざし—広島画家たちが描いた世界—」、「花ひらく芸術—院展の作家を中心に—」、「描かれた美しい花々」</p>
<p>蘭島閣美術館 別館</p>	<p>「寺内萬治郎と森清治郎」、「林武造形奇譚—絵を描く人のための林武展（前期）」、「林武造形奇譚—絵を描く人のための林武展（後期）」、「裸婦を描いて—寺内萬治郎の世界—」</p>
<p>三之瀬御本陣 芸術文化館</p>	<p>「三岸節子 花より花らしく／須田国太郎の見つめた自然」、「須田国太郎のあゆみ」、「須田国太郎と能—芸に魅せられた画家たち—」、「池田栄廣の世界／須田国太郎の描く生き物」、「須田国太郎の黒—Suda's black—洋画家たちの黒」</p>

## （２）教育普及事業

### 【講演会・教室等】

海や山などに囲まれ、恵まれた自然環境を生かし、市民が気軽に学習、制作活動に参加できるワークショップ・講座等を開催する。

### 【地域連携プログラム】

<p>市内教育・文化 施設等</p>	<p>「芸術文化普及事業」【自主事業】 絵画作品の無償提供を受け、教育・文化施設又は福祉施設などの公共施設を中心に絵画の貸し出しを行い、市民や児童・生徒が芸術作品に触れる機会を提供することで、芸術文化の普及を図る。</p>
------------------------	---

### 【ギャラリーコンサート】

蘭島閣美術館	<p>美術館という特別な環境の中でクラシックコンサートを開催し、美術と音楽という異なる種類の芸術を同時に楽しんでもらうことにより、芸術に対する一層の意識の向上を図って行く。</p> <p>4月18日 正戸里佳（ヴァイオリン） 岡田将（ピアノ）          5月16日 山下洋輔（ジャズピアノ）          6月20日 石岡久乃（ピアノ） 安宅薫（ピアノ）          7月18日 渡辺玲子（ヴァイオリン） 林絵里（ピアノ）          8月15日 上野耕平（サクソフォン） 山中惇史（ピアノ）          9月19日 伊藤圭（クラリネット） 調整中（ピアノ）          10月17日 徳永二男（ヴァイオリン） 調整中（ピアノ）          11月21日 澤原行正（テノール） 越前皓也（ピアノ）          12月19日 小山実稚恵（ピアノ）          1月16日 通崎睦美（木琴） 調整中（ピアノ）          2月20日 津田裕也（ピアノ）          3月20日 ハンスイェルク・シェレンベルガー（オーボエ）</p>
--------	--

### 【ギャラリーコンサート関連事業】

蘭島閣美術館	<p>「ミュージック&amp;アーツ」【自主事業】</p> <p>音楽や美術を通じて、子どもたちの感情や情緒を育み、創造的で個性的な心を豊かにする。</p>
〃	<p>「コンサート講演会」【自主事業】</p> <p>コンサートに関する講演会を開催し、クラシックコンサートに対する理解を深めてもらう。</p>
市内小学校等	<p>「ミニコンサート」【自主事業】</p> <p>ギャラリーコンサート出演者等の協力を得て、学校等においてクラシックコンサートを行い、子どもたちの豊かな感性を育てていく。</p>

### (3) 収蔵品等管理、調査・研究事業

上記の展覧会事業、教育普及事業を企画するため、収蔵品及び寄託品等の管理業務と、美術に関する調査・研究活動を行い、より質の高い事業の推進に役立て行く。

## 公益目的事業2「昆虫の家における自然環境保全啓発事業」

### (1) 展覧会事業：

地域の自然環境保全や生物保護への意識向上に資するため、昆虫標本や、生き物をモチーフとした美術品等の鑑賞機会を提供する。

### (2) 教育普及事業

#### 【講演会・教室等】

「ふれあい海岸教室」【自主事業】及び「ふれあい昆虫教室」【自主事業】  
市民が気軽に学習、制作活動に参加できる各種講演会や講座を開催する。特に、下蒲刈島の豊かな自然に触れ、身近な生物である昆虫あるいは貝や海藻の観察や採集を通して、生命の尊さや自然環境保護の重要性について学び、豊かな感性を養って行く。

#### 【地域連携プログラム】

教育機関等と連携し、環境教育の普及に努めると共に、児童・生徒の環境保全活動に対する支援を行って行く。

## 公益目的事業3「松濤園における芸術文化振興事業」

### (1) 展覧会事業

#### 【所蔵品展】

松濤園	朝鮮通信使資料館：「朝鮮通信使と異文化交流」、「朝鮮通信使が見た日本」、「朝鮮通信使と船の旅」、「朝鮮通信使と饗応」、「最後の朝鮮通信使」 陶磁器館：「色絵磁器の変遷」、「やきもの動物園」、「海を渡った伊万里たち」、「磁器の魅力」、「やきものの歴史—古陶磁から現代まで—」
-----	---

### (2) 教育普及事業

#### 【講演会・教室等】

市民や子供たちが気軽に学習、制作活動に参加できる各種講演会や講座を開催する。

### 【地域連携プログラム】

教育機関等と連携し、児童や生徒に対する文化の向上に努めると共に、地域が培ってきた伝統文化の継承を進めて行く。

### 【地域に息づく歴史と文化を普及啓発する事業】

「朝鮮通信使再現行列」(2020年10月18日)

地域の歴史の掘りおこしと日韓友好への一助を目的に、江戸時代の善隣友好使節団「朝鮮通信使」行列の再現を行う。行列の参加者は広く地域住民に求め、地域振興の一環として実施する。

「秋のお茶会」(11月上旬)と「春の梅見茶会」(2月中旬)

松濤園の日本建築と瀬戸内の自然を借景に取り込んだ日本庭園を活用した茶会を催し、茶道という日本の伝統文化の継承に努め、併せて地域文化の向上に努めて行く。

### (3) 収蔵品等管理、調査・研究事業

上記の展覧会事業、教育普及事業を企画するため、収蔵品及び寄託品等の管理業務と、地域の歴史と美術に関する調査・研究活動を行い、より質の高い事業の推進に役立てて行く。

## 公益目的事業4「白雪楼、春蘭荘・松籟亭・煎茶室における芸術文化振興事業」

### (1) 展覧会事業

広く芸術文化(主に体験型の日本文化)の振興に資するため、美術品や建築等の展示を行うと共に、地域に根付く日本文化の体験機会を提供して行く。

### (2) 教育普及事業

#### 【講演会・教室等】

松籟亭	「茶道教室」(毎月2回)【自主事業】 武家茶である上田宗箇流による茶道教室を開催し、広島県の伝統文化の継承を図る。
-----	--

### 【地域連携プログラム】

教育機関等と連携し、体験学習の普及に努める共に、児童・生徒の日本の伝統文化に対する理解を深めて行く。